

平成23年9月19日 『県政タウンミーティング』 主な発言要旨及び施策への反映状況調査票

集会での発言		参加者の発言に対する県の考え方	
参加者発言内容	知事等発言内容	概要	部・課名
【地域に開かれた学校について】			
○地域に開かれた学校を実現するために、学校単位でタウンミーティングのような場を設けてはどうか。		○地域に開かれた学校を実現するために、学校評価や学校評議員、外部講師など地域の方に学校教育に様々な場面で協力をいただきます。また、地区懇談会を開いて、地域の方からのご意見をいただく機会を設けます。 ○各学校において、学校の情報を地域や家庭にお知らせするために「学校だより」等を定期的に発信します。また、総合的な学習の時間において、外部の方に講師をお願いしたり、学校以外の場所で職場体験や社会見学など体験的な学習を実施します。	教育委員会事務局 教学指導課
○NPO団体を含め、地域と連携しながら、学校の活動や情報を共有したらどうか。また、地域の人材等を活用して、外部の方に講師をお願いしたり、学校以外の場所で授業を行ったらどうか。		○「地域で支える学校サポート事業」(推進委員会、意見交換会、教員研修、学校訪問等)を実施する中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	文化財・生涯学習課
【学校力の向上について】			
○教員の指導力の向上等を図るため、教員の自己研鑽を校内はもとより、学校以外の場でもっと研鑽を積むべきではないか。 また、教員の学校現場の分業化、チーム化をしたらどうか。	<知事> ○カリキュラムのあり方を含めて、学校のあり方について、そもそも論から考えていかなければいけないという問題意識を強く思った。	○指定研修として、10年経験者研修で異業種体験研修を2～3日実施しています。他の研修においてもよりよいあり方を研究していきます。	教育委員会事務局 教学指導課

平成23年9月19日 『県政タウンミーティング』 主な発言要旨及び施策への反映状況調査票

集会での発言		参加者の発言に対する県の考え方	
参加者発言内容	知事等発言内容	概要	部・課名
【学校のあり方について】			
○画一的なカリキュラムではなく、地域や学校の特色を活かしたオリジナルのあるカリキュラムにしたらどうか。		○学習指導要領に基づくことを原則にしながら、各学校の特色ある活動や重点化した指導に対応した教育課程編成ができる(カリキュラム)「教育課程特例校」の仕組みがあるので、申請の仕方について市町村教育委員会や各学校へ周知してまいります。	教育委員会事務局 教学指導課
○県内各地にパイロットスクール(実験校)を立ち上げ、その実績等を見ながら、一般の学校の本格的な改革を行ったらどうか。		○平成24年度も、生徒指導担当教員の取り組みの充実を図るために、県内2校を指定し、生徒指導の課題のある中学校に非常勤講師を配置しました。この事業によって、生徒指導推進の企画・運営、サポートチームの編成と運営、関係機関との連携・調整、学校間の連絡調整の充実等を図り、まわりの学校のモデルとなり、県内他校に資するよう研究していく中で、ご意見の趣旨が反映されるよう努めます。	教育委員会事務局 義務教育課
		○笑顔で登校支援事業やスクールカウンセラー事業、スクールソーシャルワーカー活用事業等を実施する中で、不登校を生まない学校のあり方を研究していきたいと考えています。	教育委員会事務局 心の支援室 企画部次世代サポート課